

## ニュース断片

# 西ドイツ社会保障の 最近の動き



### 農業者疾病保険

農業者疾病保険法案は、連邦議会社会政策委員会において審議されているが、5月の連邦議会本会議での審議ののち、1972年7月1日から施行が予定されている。この法案は、3月初めからの公聴会の意見に基づき、かなり修正されている。とくに家族に対する給付の支給に関する部分の修正が大きい。社会政策委員会は、雇用契約のある家族には傷病手当、賃金継続支給および出産手当について被用者と同等の受給権をあたえ、また雇用契約のない家族には傷病手当の一時金または出産手当の一時金を支給することを決定している。また、保険料については政府案が修正され、農業疾病金庫の最高保険料は、同じ地域

の地区疾病金庫の平均最高強制加入保険料を越えてはならないとされた。そして最高保険料は、最低保険料の少なくとも2.5倍とされた。このため、1972年の最高保険料は月額130.80マルク、事業主の平均保険料は月額85.50マルク、一緒に働いている家族の平均保険料は月額57マルクになるものと思われる。

### 診療券報償金

ごく最近、診療券報償金および薬剤費の被保険者一部負担の経験に関する連邦政府報告書が公表された。この報告書は、疾病金庫連合会、金庫医協会および薬剤師組合の各実績報告と各調査結果を引用している。これによると、薬剤費の一部負担は、わずらわしさとそれによる薬局取引のある程度の阻害をもた

らし、また実験的な診療券報償金は失敗であったとされている。診療券報償金制度は、高い事務費（1件支払うごとに2.33マルク）と多額の報償費（1970年において約3億4千5百万マルク）を必要としている。

### ドイツ労働組合総同盟(DGB)の保健綱領

DGBは、公的疾病保険の拡充と近代化の措置と結びつけた保健政策綱領を発表した。これによると、まず保険医の診療にとっても医学・医術センターが必要であるとしている。これは、もっとも近代的な診断の要請は金銭と関係ないという考え方によるものである。また、このようなセンターの拡充も民間資本ベースでは、疾病保険の被保険者の要求を満たすことはできないとしている。この保健綱領は、広範囲の提案と、州地域における医療、企業における労働医療保護および病院医療についてのテーゼから成っている。

### 年金改革

連邦議会の労働社会委員会は、農業者疾病保険法案の審議後、年金改革法案を審議する

予定である。労働社会委員会のシェレンベルク教授は、同委員会は秋までに法案を可決するために夏休みを返上して審議する予定であると述べている。政府は、政府案のみならず野党提案も真剣に考慮するとしている。その場合、とくに問題にされるのは年金水準の改善であろう。第2次年金改革の骨子は、(1)最低年金の引上げ、(2)出産年限加算の導入、(3)弾力的年金受給年齢の導入、(4)就業していな

い婦人、手伝いをしている家族および自営業者に対する公的年金保険の開放、(5)離婚の場合の保護調整の個別的規定である。改正法は1973年1月1日から施行が予定されている。

Entscheidungen nach der Osterpause,  
Selbstverwaltung der Ortskrankenkassen,  
April 1972, S. 61—65.

(石本忠義 健保連)

## アメリカにおける心身障害者の ためのディ・ケア計画



老人はそれぞれ個別的な感情をもっており自己の利害を決定する権利をもつべきであるという認識から、老人が自由に選択できる広範囲のサービスについて再検討が求められている。

ボルティモアのユダヤ人居住地では、既

存の諸サービスを統合して、老人が一層効果的にサービスを利用できるように、全体的な計画が討議されてきた。その一つの試みとして、Levindale Hebrew Geriatric Center and Hospital (以下 Levindale と略す) で、対人関係や身体的な障害のある老人のために、ディ

・ケア計画を実施した。この Levindale は、関連諸科学の協力を得て、医療を含む総合的サービスを提供する老人施設である。

### ディ・ケアの概念と発展の過程

Levindale のこれまでの経験によると、地域社会の老人は、一般に家族と共に生活することを望んでいるが、将来の準備のために Levindale への入所の申し込みをしている。そして身体的悪化などの結果、一度入所すれば、地域社会に資源がないため、スタッフは老人が施設に適応し、施設に止まるように援助してきた。このような資源の欠除を解決する試みとして Levindale は、過去5年間、地域の比較的自助能力もあり、社会関係を求めている老人のために、ディ・ケア計画を実験的に実施してきた。

さらに、この試みをもとに新たな企画が立案された。Levindale では、患者を精神的、身体的、社会的ニードに応じて若干のグループに分類されていた。したがって、ディ・ケア計画の対象者は、それぞれのニードに対応して、Levindale の各グループに組み入れら